

野村町坂石のお祭り

参加日：平成21年10月25日
地域研究サークル「五友の会」の報告書
スタッフ： 宮田 潤（松山大学）
小林 祥二（愛媛大学）



西予市野村町坂石は、鹿野川湖から大きな坂を登り、その丘の上にあるのどかな村です。今回は、地域づくり人養成講座受講生の武田 勉さんの故郷を訪ね、野村町坂石のお祭りに参加しました！

出発は9：00。

「よっしゃー」と軽トラで松山を出発です！
野村町は初めてなので、地図を片手に
ドライブ気分で車に乗り込みました。



野村町坂石は湖沿いの丘の上にあります。
大きな坂を登るとそこに広がる景色は、のどかな田舎の風景。まさに、「となりのトトロ」を舞台にした村という表現がぴったりな場所でした。

到着は11：00。到着するやいなや、野村町の婦人会の方々のおもてなしを受けました。写真は美味しい食事に感動する小林。



野村町のお祭りの主旨は、
 収穫を祝うことと、村民の健康や安全のお祈り、
 厄払いです。村をずっと守ってきた神社に一同が
 集結し、ここでお神輿や牛鬼の出発準備を行い、
 子供からお年寄りまで力を合わせ、村内回りが
 始まります。



「こば」「つばき」「しい」「つばき」などの古木が、客神社内にあります。



軽トラックに
 牛鬼を乗せて
 村内にある家の
 近くまで移動します。

軽トラから牛鬼を降し
 「よいしょっ！」と
 持ち上げました。



玄関から家内をめがけて
 「お〜い！」と叫びながら
 牛鬼の首を伸縮させ、
 厄を追い払います。

休憩の差し入れも楽しみの一つ。



お祭りの感想

(後日お送りした文章の引用)

「こんにちは！ 愛媛大学の小林祥二です。

初めて牛鬼を担ぎました！

宇和島で牛鬼を見たことはあるのですが、

まさか自分がそれを担ぐ日がくるとは思わなかったです。

みなさんが屋根を壊さんばかりの勢いで牛鬼を暴れさせるので、

僕も負けじと声を張って頑張りました。おかげで翌朝は肩が痛かったです(笑)。

とても明るい方たちに囲まれてお酒を飲んで、美味しい食事を食べて、貴重な体験をしました！」



「 野村町のみなさん、はじめまして！松山大学の宮田潤です。先日のお祭りでは、楽しい思い出をたくさん作ることができて本当に感謝しております。とにかく『村の皆さんが篤い！！』村のお祭りを村の皆で祝うという村の連帯感がひしひしと伝わってきました。村をずっと昔から見守る木々の精霊に囲まれながら、人々が力を合わし、自然と共存する『古きよき日本の村』を体験できるお祭りでした。お酒はあまり飲めませんがまたよろしくお祈いします(笑)」



報告者 宮田 潤